

Press Release
2022 年 9 月 20 日

報道関係者各位

一般社団法人東京ビエンナーレ

【御取材のお願い】東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ 2023
「東京ビエンナーレ 2023 はじまり展」開催および記者会見&会場ツアーのご案内



東京の地には、江戸時代から積み重なってきた歴史や文化、暮らしの層があります。

急速なグローバル化の一方で、SNS を始めとするコミュニケーション形態の変容、新型コロナウイルス感染症の拡大等のために個人が時間的・空間的孤立を深める東京にとって、この土地の層を丁寧に読み解きながら、現代社会における人と人、社会、地域、歴史との繋がりをとらえ直す活動が必要です。

東京ビエンナーレは、東京のまちを舞台に2年に1度開催する国際芸術祭です。

世界中から幅広いジャンルのクリエイターが東京のまちに深く入り込み、地域住民の方々と一緒に作り上げていく新しいタイプの芸術祭として、千代田区、中央区、文京区、台東区を中心とする東京都心北東地域を舞台に、多様な表現領域を横断して展開します。

東京ビエンナーレ 2023 は先述した「繋がりをとらえ直す活動」のためのアートのプラットフォーム（乗り物）として、“「私」から「私たち」へ”を基本理念に、個と共同体の新しいあり方、これからの生き方を考える機会を提供します。

第1回は当初予定の2020年開催がコロナ禍の影響で延期されるも、多くの方々のご協力のもと、翌年に「東京ビエンナーレ 2020/2021」として実現できました。

第2回目の「東京ビエンナーレ 2023」は会期を2023年後半に予定していますが、市民参加型の継続的な取り組みを一層重視し、2022年からプレイベントとして各所で活動を展開します。

「東京ビエンナーレ 2023 はじまり展」はその主軸となる催しです。舞台となるのは、2025年に創建400年を迎える東叡山 寛永寺（台東区）や、都市型総合エンターテインメント施設・東京ドームシ

ティ（文京区）、また戦前に建てられ、改修を経て現代に残る看板建築・優美堂（千代田区）という、いずれも固有の背景と可能性をもつ場です。さらに「東京ビエンナーレ 2023 計画展示」では、熟練の職人や多くの専門家を擁するジュエリータウン・御徒町（台東区）など、各所で進むプロジェクトの構想をご紹介します。地域社会、地元企業、多様な参加者らと共にプロジェクトを立ち上げ、活動していくこれらの試みの「はじまり」にぜひ共に立ち会い、体験してください。

「はじまり展」で生まれた出会いがひろがり、多様な方々がそれぞれのかたちでこの芸術祭に参加する機会になることを、心から願っております。

また、**10月5日（水）14時半～16時半に開催する記者会見&会場ツアー**では、「東京ビエンナーレ 2023」のテーマおよび総合ディレクターを発表いたします。

ぜひ記者会見&会場ツアーへご参加いただき「東京ビエンナーレ 2023 はじまり展」を貴媒体にてご紹介、ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

■記者会見&会場ツアー

日 程： 2022 年 10 月 5 日（水）

時 間： 14:30-16:30（限定公開のオンライン配信でのご参加も可能です）

会 場： 東叡山 寛永寺 根本中堂側（台東区上野桜木1丁目14-11）

登 壇： ※東京ビエンナーレ 2023 の総合ディレクターは会場にて公表致します

プロデューサー 中西忍、プロジェクトディレクター 岩間賢・小池一子・宮本武典、クリエイティブディレクター 佐藤直樹、コミュニケーションディレクター 並河進、メディアリエゾン 今田素子、PR ディレクター 若林直子

〈出席お申込みについて〉

ご出席いただける場合は、下記フォームよりお申し込み頂けると幸いです。

【ゲートフォーム】

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSctiz9s7wafxOQIRp_Hh2GSf6u4jVwA2wMYahAnKYElblbZfg/viewform

■開催概要

[タイトル] 東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ 2023

東京ビエンナーレ 2023 はじまり展

[会 期] 2022 年 10 月 6 日（木）～10 月 30 日（日）※メイン期間

[会 場] 東叡山 寛永寺、東京ドームシティ、優美堂ほか

[休場日] 寛永寺会場：月～水曜日（祝日は開場）優美堂会場：水曜日

[時 間]

寛永寺会場：10:30-16:30（入場は 16:00 まで）ただし、根本中堂は 15:30 最終入場、16:00 閉場

東京ドームシティ：終日公開（夜間 1:30-4:30 は立入不可）

優美堂会場：11:30-18:00（木・金・土は 20:00 まで）

[料 金] 入場無料（一部、有料イベントあり）

[主 催] 一般社団法人東京ビエンナーレ

[後 援] 千代田区、中央区、文京区、台東区、一般社団法人千代田区観光協会
一般社団法人中央区観光協会、一般社団法人文京区観光協会、東京藝術大学

[協 力] 東叡山 寛永寺、アーツ千代田 3331 ほか

[助 成] 令和4年度日本博イノベーション型プロジェクト（独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁）

[WEB サイト] <https://tokyobiennale.jp/>

■「東京ビエンナーレ 2023 はじまり展」の見どころ

【新たな展開を見せる・東京ビエンナーレ 2023 計画展示】

小池一子 + 一力昭圭、並河進、宮本武典、Tokyo Urban Farming、中村政人、西原珉、藤幡正樹らが2023年に向け各地域やデジタル空間上で構想するプロジェクトの計画や、その参加方法のご紹介を展示で行います。展示会場では、各プロジェクトの繋がりを意識しながら、来場者がコメントや自分の思いを書き込める仕掛けを準備します。そうしたワンアクションによってプロジェクトとの距離を縮めていただき、東京ビエンナーレ 2023 の「はじまり」を体感し、この芸術祭への参加のきっかけをつかんでいただきます。

【トークセッションとシンポジウム】

トークセッションでは、東京ビエンナーレ 2023 計画展示で発表するアーティストやディレクターたちが勢揃いし、短い持ち時間で端的に各プロジェクトをアピール。本芸術祭に「はじまり」から参加していただける人々を募集します。また、シンポジウムでは「都市型国際芸術祭はどこに向かうのか？～ポストコロナ、アートの変容、そして新しい関係性～」をテーマに、海外の研究者と、日本で活動するキュレーター・西原珉、社会学者・毛利嘉孝が議論します。俯瞰した視点で、広く国内や世界に目を向け、現在の潮流をすくい上げつつ、変容する芸術祭としての東京ビエンナーレ 2023 の進む先をうらないます。

【その景色と一緒に見つめる】

「はじまり展」会期中は3か所の会場で複数プロジェクトの「はじまり」をご覧いただくことができます（2022年9月中旬現在）。各プロジェクトがその場所で何と繋がろうとし、何を産みだそうとしているのかを、現場に立つことでリアルな景色と共に体感できるでしょう。始まったばかりのプロジェクトや、第1回目の東京ビエンナーレから継続するプロジェクトなど、それぞれの今の姿を目撃することができます。また、東京各所を多様なテーマで訪ねるツアーを通じて、「東京」の持つ歴史・現在のコミュニティ・未来を体感することを仕掛けます。

■東京ビエンナーレ 2023 計画展示

2020～21年に開催され、70名のアーティスト、17の地域コミュニティ、500名を超える市民サポーター、24の企業・団体が参画した東京ビエンナーレが、2023年に向けて始動。2023年に向け各地域やデジタル空間上で構想するプロジェクトの計画展や、その参加方法ご紹介、アーカイブ展示を行います。

プロジェクト：ジュエリー・リンケージ、超分別ゴミ 2023（仮）、Permanent Tokyo、Tokyo Urban Farming & Art（仮）、優美堂再生プロジェクト、谷中プロジェクト（仮）、寛永寺プロジェクト、本郷・水道橋プロジェクト（仮）、Slow Art Collective、ほか

参加者（はじめる人々）：池田晶紀、一力昭圭、岩間賢、小池一子、鈴木理策、Slow Art Collective、高橋臨太郎、中村政人、並河進、西原珉、西村雄輔、藤幡正樹、日比野克彦、宮本武典、地域のご協力団体・個人のみなさま／参加者のみなさま ※五十音順

■プロジェクト展示

①東叡山 寛永寺（根本中堂ほか）〔台東区〕

「寛永寺プロジェクト」アート展示

1625（寛永2）年の創建からまもなく400年を数える寛永寺の歴史性・空間性にアーティストらが対峙し、多様な人々と協働しながら、人と人、社会、地域、歴史との新たな関わりを探る試みです。今回は鈴木理策、西村雄輔、日比野克彦らの作品・プロジェクト展示を行います。

〔会場〕 東叡山 寛永寺 根本中堂ほか（台東区上野桜木1-14-11）

〔会期〕 2022年10月6日（金）～30日（日）の木～日曜日および祝日

〔開場時間〕 10:30～16:30（入場は16:00まで）ただし、根本中堂は15:30最終入場、16:00閉場。

〔休場日〕 月～水曜日（祝日は開場）

〔料金〕 無料（一部のイベントは有料）

〔主催〕 一般社団法人東京ビエンナーレ

〔後援〕 東京藝術大学

〔協力〕 東叡山 寛永寺

〔助成〕 令和4年度日本博イノベーション型プロジェクト（独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁）



②東京ドームシティ〔文京区〕

「Radius harps / After a typhoon」アート展示

都市型総合エンターテインメント施設東京ドームシティをめぐる目に見えない流動のなかを、高橋臨太郎が等身大のスケールで干渉することから生まれた作品群を展示。それらは「振動」や「抵抗」として今までになかった渦を巻き起こします。

〔会場〕 東京ドームシティ Gallery AaMo と都営三田線水道橋駅 A3 出口をつなぐ通路（文京区後楽1-3-61）

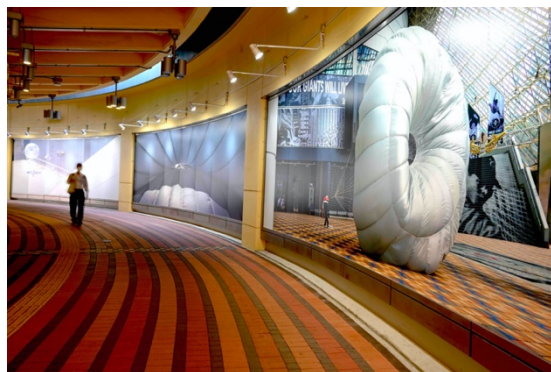
〔会期〕 2022年10月6日（木）～2023年2月28日（火）

〔開場時間〕 終日公開（夜間1:30～4:30は立入不可）

〔休場日〕 なし 〔料金〕 無料

〔主催〕 株式会社東京ドーム、一般社団法人東京ビエンナーレ

〔後援〕 東京藝術大学



③優美堂 [千代田区]

「優美堂プロジェクト」アート展示

戦争を乗り越え現代に残る神田の額縁屋「優美堂」は、中村政人と様々な協力者による「優美堂再生プロジェクト」でコミュニティアートスペースとして改修され、東京ビエンナーレ 2020/2021 の参加プロジェクトとして活動が始まりました。今回は優美堂に残された額縁と複製画を使った中村の作品を、街の様子と共に、併設のカフェでお茶を楽しみながら体験できます。

[会場] 優美堂（千代田区神田小川町 2-4）

[会期] 2022 年 10 月 6 日（木）-10 月 30 日（日）

[開場時間] 11:30-18:00（木・金・土は 20:00 まで） [休場日] 水曜日 [料金] 無料

[主催] 一般社団法人東京ビエンナーレ

[助成] 令和 4 年度日本博イノベーション型プロジェクト（独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁）



近日、詳細決定！

④大丸有エリア [千代田区]

東京ビエンナーレ 2020/2021 でも多くの作品が展開された大手町・丸の内・有楽町一帯を指す「大丸有エリア」。ここから始まるプロジェクトを準備中です。大丸有で取り組まれる SDGs のアクションと連動する企画の準備も。

* 詳細は決定しだい、東京ビエンナーレのウェブサイト等でご案内いたします。

* 各イベントは諸般の事情により予定を変更することがございます。予めご了承ください。

* 最新情報はウェブサイト（tokyobiennale.jp）をご確認ください。

■関連イベント

【シンポジウム】批評とメディアの実施プロジェクト[Relations]主宰

「都市型国際芸術祭はどこに向かうのか？～ポストコロナ、アートの変容、そして新しい関係性～」転機を迎えた都市型国際芸術祭の未来を、日本の現代美術や地域型国際展の研究者を迎えて議論します。 RELATIONS WEB サイト <https://relations-tokyo.com/>

[登壇者] クレリア・ゼルニック（パリ国立高等芸術大学・教授・美学）、グンヒルド・ボーグリーン（コペンハーゲン大学・准教授・美術史／視覚文化論）、西原珉（秋田公立美術大学教授、キュレーター、臨床心理士）

[司会] 毛利嘉孝（東京藝術大学・教授・社会学／文化研究）

[日時] 10 月 15 日（土）14:00-16:00

[会場] 寛永寺 大書院

[料金] 1,000 円（要予約）

[定員] 40 名

※批評とメディアの実施プロジェクト[Relations]とは新しい時代の新しいアートの形式をめぐる批評とメディアの実践の試みです。それは、アートを中心としながらも、アートとその隣接領域、社会や経済、政治や科学テクノロジーの「関係性」を探るものです。それは「東京ビエンナーレ」の一部をなしつつも、「東京ビエンナーレ」やそれに関連するプロジェクトを批判的に検証しつつ、新しいアートのあり方を模索する試みなのです。

【トークセッション】

東京ビエンナーレ 2023 の構想を多様な作家・企画者陣が語ります。

[登壇予定者] 一力昭圭、小池一子、鈴木理策、Slow Art Collective、高橋臨太郎、中村政人、並河進、西原珉、西村雄輔、宮本武典ほか ※五十音順

[日時] 10月16日(日) 13:30-16:30

[会場] 寛永寺内 計画展示会場付近 ※雨天時は寛永寺 小書院

[料金] 無料(要予約)

[定員] 30名

【ツアー】

A: 寛永寺ツアー

「はじまり展」会場でもある寛永寺を石川亮岳執事の案内で巡る貴重な機会。寛永寺に展示された作品の側で、その場所の解説をお話いただき、続いて作品について中村政人が解説します。

[日時] 10月9日(日) 14:30-15:30

[コンダクター] 石川亮岳(寛永寺執事)、中村政人(アーティスト)

[料金] 1,000円(要予約)

[定員] 15名

近日、詳細決定！

B: 谷中ツアー

古民家や歴史的建築が残る街で文化保存・継承の現場を巡ります。また、谷中エリアならではの美味しい味もご紹介します。

C: 大丸有(大手町、丸の内、有楽町)ツアー

近年同エリアで活発な、街中の「アートな仕掛け」を巡ります。

*詳細は決定しだい、東京ビエンナーレ ウェブサイト等でご案内します。

予告 10月以降も続々イベントを開催！

・夜の街・吉原ツアー

江戸の遊郭時代の名残もみられる街の現代の姿と、社会との接点を巡ります。